

2016.6.15

こんにちわ～るど

半田国際交流協会だより

No.58

平成28年度 半田国際交流協会総会開催

4月22日(金)半田市福祉文化会館視聴覚室にて、本年度総会を無事終えることができました。議案はすべて承認されましたので、ご報告申し上げます。

外国人の方々との 共生・交流に注力を

半田国際交流協会 会長
松石 奉之



日本の人口は2010年時点で1億2800万人、労働人口は8000万人ですが、2030年の予測では、人口は1億1600万人、労働人口は6700万人になるといわれます。高齢化を支える働く世代が減少したとき、日本社会が現状のまま維持されるとは誰もが思わないでしょう。

半田市をみてみると、2016年4月時点での人口は118713人、内20歳から59歳は61412人(51.7%)です。その内、在住外国人は2813人、20歳から59歳は2137人(75.9%)です。働く世代の在住外国人が多いことを鑑みて、外国人の方々と市民との共生を計り、地域経済を支える労働力を確保していくのか、または少子高齢化の縮小社会を築いていくのか、決断に迫られる日が近い将来やってくるでしょう。

一方、日本全体の訪日客の消費はここ数年で大幅に増加していますが、中部地域では全国シェアの6.5%程度です。山車・蔵・南吉・赤レンガ・MIZKANミュージアムなど素晴らしい観光資源を持った半田市でも、外国人観光客を見かけることは稀です。私たちは海外からの観光客を誘致して地域経済を活性化するのか、または他地域の外国人観光客誘致の状況をはためく、静かな故郷を維持するのかということを考えていいくべきでしょう。

協会の役割も、今大きく変化しようとしているのではないかと思います。在住外国人の方々との共生、この地域を訪れる外国の方々との交流に、より一層の注力が必要になっているように思います。

もちろん、引き続き皆様の国際理解や交流推進の役割を担いながら、今年度は協会のあるべき姿を模索していきたいと思います。皆様のご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

半田市に外国人は 何人いるの？

2,813人
(昨年2,611人)

半田市の人口 118 713 人

「半田市統計書上り」(2016年4月1日現在)

- ブラジル (1,190)
 - 米国 (17)
 - オーストラリア (2)
 - アイルランド (1)
 - ニュージーランド (1)
 - 中国 (486)
 - タイ (15)
 - カナダ (2)
 - エクアドル (1)
 - ニュージーランド (1)
 - 韓国 (323)
 - スリランカ (14)
 - カンボジア (2)
 - エストニア (1)
 - パラグアイ (1)
 - フィリピン (230)
 - アルゼンチン (13)
 - ジャマイカ (2)
 - オーストリア (1)
 - ポーランド (1)
 - ベトナム (184)
 - 台湾 (13)
 - シリア (2)
 - コロンビア (1)
 - ボツワナ (1)
 - ペルー (142)
 - パキスタン (12)
 - チリ (2)
 - サモア (1)
 - ニュージーランド (1)
 - ボリビア (44)
 - トルコ (8)
 - ドイツ (2)
 - スウェーデン (1)
 - インドネシア (33)
 - インド (3)
 - ナイジェリア (2)
 - タンザニア (1)
 - インドネシア (33)
 - インド (3)
 - ナイジェリア (2)
 - タンザニア (1)
 - ネパール (23)
 - 英国 (3)
 - ミャンマー (2)
 - チェコ (1)
 - チェコ (1)
 - 朝鮮 (19)
 - イラン (2)
 - モンゴル (2)
 - ドミニカ共和国 (1)
 - ドミニカ共和国 (1)

誰もが住みよいまち、 半田！

半田市長
榎原 純夫



2015年の訪日外国人数は、約2000万人となり過去最高を記録しました。半田市の在住外国人も前年比200人増、40か国以上の方が住んでおられます。今後、外国の方と接する機会はさらに増え、様々な文化や風習を持った人たちと関わることになることでしょう。そのような時にこそ相互理解を深め、誰にでも住みよい半田市を考えることが必要だと思います。

現在、地域において目立った在住外国人とのトラブル・犯罪が無いのは、半田国際交流協会が日本語教室の開催や在住外国人の方に寄り添い、支援をしていただいているおかげであると認識しております。多くのボランティアの皆様とともに、半田市の国際交流の一翼を担っていただいておりますこと、深く感謝申し上げます。こうした活動に対し、これからも大切なパートナーとして、皆様と一緒に半田市の国際化を進めていきたいと考えています。

最後に、半田国際交流協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

平成28年度 役員紹介 (敬省略)

名誉会長	榊原 純夫	(半田市長)
会長	松石 奉之	
副会長	中村 宗雄	
副会長	榊原 肇	
専務理事	高木 利定	
理事		
平岡 和廣	(半田ジュニアプラスバンド)	
都築 数雄	(半田市高等学校校長会)	
高橋 篤	(半田市小中学校校長会)	
赤阪 等	(半田市体育協会)	
足立 岳人	(ダウ・ケミカル日本㈱)	
榊原 正治	(半田ブーツ青少年交流協会)	
堀寄 敬雄	(半田市役所)	
三浦 照幸	(半田市役所)	
監事		
藤本 哲史	(半田市副市長)	
間瀬 政勝	(半田商工会議所青年部)	

今年は日・ブータン外交関係樹立30周年



「幸せをつないで～半田とブータン～」

4月22日に行われた総会記念講演では、2005年愛知万博でフレンドシップ相手国となって以来続いている、半田市とブータン王国との交流について、万博から携わってきた松石会長が紹介しました。



半田市とブータン王国との交流は、2008年に発足した半田ブータン青少年交流協会が中心に交流を進めしており、今年は8月20日～28日の日程で、ブータン訪問団・青少年ホームステイが企画されています。



▲ブータン五輪委員会(BOC)会長のジグメ・ウ�ンチュク王子(国王の弟)と今年5月にお会いしました。

ブータン王国について

ブータン王国はヒマラヤ高地にあり、北は中国、東・西・南はインドと国境を接する、若いワンチュク国王の君臨する仏教国です。

言語はゾンカ語、英語。首都ティンプーは標高約2300mで、長い間の鎖国政策のため、独特の風俗風習が今なお残っています。

現在は、GNH(国民総幸福量)のもとに各種の政策が行われていますが、押し寄せてくる近代化の波とともに若い世代は善悪両面で変化しつつあります。しかし豊かな自然は今なお手つかずのまま残されており、国の政策として多くの観光客の受け入れを希望しています。



ブータン王国の国旗

龍は国民と王家のシンボル。左上の黄色は国王の権威、右下のオレンジ色は仏教を表しています。

法人・団体会員(順不同)

【法人会員】(27社)

愛知海運株半田カンパニー
あいち知多農業協同組合
阿久比運輸株
(有)一粒社
尾張製粉株
JTB中部団体旅行半田支店
(株)システムサポート
箕松華堂菓子舗
ダウ・ケミカル日本株
知多信用金庫
中部電力株半田営業所
ツカサ工業株
土平鋳工株

中埜総合印刷株
日本ガイシ株知多事業所
半田港運株
半田信用金庫
ビジネスホテル アズイン 半田インター
NPOヒューマンコミュニティ
文化堂写真館
(株)マツイシ楽器店
(株)Mizkan Partners
株三菱東京UFJ銀行半田支店
山田紡績株
武豊屋株
丸佐織物株
株デザインセンター オワリヤ

【団体会員】(20団体)

半田商工会議所
半田ロータリークラブ
半田南ロータリークラブ
半田ライオンズクラブ
(公社)半田青年会議所
半田市商店街連合会
半田市小中学校校長会
半田市PTA連絡協議会
半田市体育協会
(一社)半田市医師会
知多地域日本中国友好協会
半田歯科医師会
知多薬剤師会

愛知県立半田高等学校

愛知県立半田東高等学校
半田遊技業組合
半田ジュニアプラスバンド
日本福祉大学付属高等学校
半田ブータン青少年交流協会
国際ソロブチミスト半田

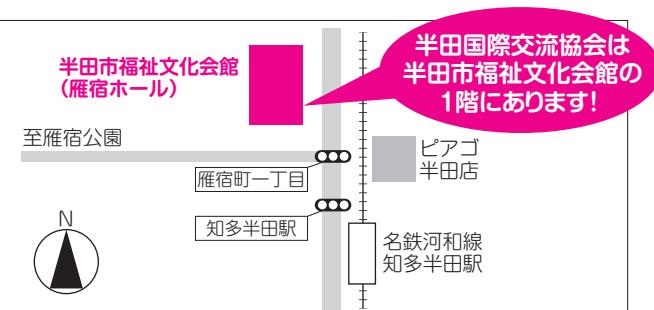
【個人会員】

296名
(2016年5月1日現在)

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
法人会員 (1口 5,000円)		
・従業員数 1名～29名		1口以上
・従業員数 30名～49名		2口以上
・従業員数 50名～		4口以上

申込先：半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL : 0569-26-1929 FAX : 0569-26-1992
E-mail : hia@poplar.ocn.ne.jp
H P : <http://www.handakokusai.aichi.jp>



今後の主な行事予定

日本語
教室

七夕交流会 7月31日(日)

日本語教室の生徒が、七夕の文化を学びながら、笹飾りや縁日体験など、夏祭りの催しを楽しめます。



市民
イベント

こんにちわーるど フェスティバル 10月30日(日)

世界を身近に感じられるふれあいフェスティバルを、半田赤レンガ建物で開催。いろいろな国のブースやパフォーマンスがあります。お気軽に遊びに来てください!

どなたでも
参加できます!



日本語
教室

外国人かきぞめ大会 2017年1月8日(日)

日本語教室の生徒が、かきぞめに挑戦します。

※イベントの開催日は変更する場合があります。

2016

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2017

1月

2月

3月

7月22日～8月12日

半田市より高校生
3人をミッドランド
市に派遣。



8月20日～8月28日

一般訪問団と青
少年ホームステ
イ参加者が、ブー
ターン王国を訪問。
(半田ブータン青
少年交流協会主
催)



日本語
教室

野外学習 11月20日(日)

日本語教室の生徒と先生で、日本文化にふれる
バス旅行に行きます。



市民
イベント

インターナショナル ポトラックパーティ 2017年3月12日(日)

参加者がお料理を持ち寄って楽しむパーティを
半田市福祉文化会館(雁宿ホール)講堂で開催。
各国の料理を食べながら、楽しく交流しま
しょう!

どなたでも
参加できます!



お花見に 行きました



4月3日、日本語教室の生
徒と先生、総勢78名(外
国人65名、日本人13名)で、
雁宿公園へお花見に行き
ました。おにぎりを食べな
がら、自己紹介や伝言ゲ
ーム、各国の歌の披露など
で盛り上りました。満開の
桜の下、日本の春を満喫し
ました。

広報紙
作成

会報 「こんにちわーるど」 年4回発行

イベントの案内や活動報告などを
皆さんにお知らせします。





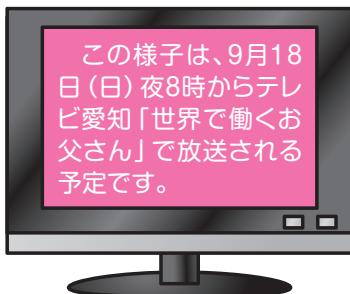
半田市在住のカンボジア人ナットさんは、日本語が上手で、いつも協会の活動に協力をしてくれています。この度、奥さんの智子さんが、「世界で働くお父さん」というテレビ番組の出演に応募したときの様子を紹介してくれました。



▲世界遺産バイヨン寺院をバックにお父さんと



▲いとこ達と、プノンクーレン滻へ小旅行



主人はアンコールワットで有名なカンボジア出身。小学4年生の長男陽斗はカンボジア生まれで、2歳まで住んでいました。この冬、主人の一時帰国で子どもたちは寂しくしていました。この時間をプラスにしようと思いついたのが、単身赴任のお父さんを突撃訪問する「世界で働くお父さん」という番組への出演。「1人でパパに会いにカンボジアへ冒険に行ってみない?」と聞いたところ、「行く~!」とまるで近くの公園にでも遊びに行くような感覚で答えた陽斗。母国を巡る1人旅がトントン拍子で決まりました。

「お好きなルート、日程をどうぞ」と番組から言われ、母子でしっかりカンボジアについて調べました。行きたいところ、見たいもの、やりたい事、カンボジアの文化や歴史をノートにまとめたり、カンボジア新聞を作ったり、準備万端。好奇心旺盛で行動力のある陽斗は、元気にセントレアから飛んでいました。あとからVTRをみて分かったのですが、主人に会うまでの1人旅の間は、言葉の壁や雰囲気の違いで緊張しながらも、前向きに頑張っていました。主人に無事に会ってからは、フル活動。いとこ達と有名な滻まで小旅行に行ったり、村で30人ほどの親戚に日本のカレーをふるまつたり、一緒にアンコール遺跡群を回ったり、たくさんあった“やりたいことリスト”をほぼ制覇したようです。慣れない英語を使いながら、たくさんの人と交流し、とても有意義な時間を過ごせたようです。

旅から帰った陽斗は一回り成長し、国際感覚豊かになった気がします。「1人で大丈夫かな?」という親の心配を見事はねのけ、「自分で成し遂げる」ということに達成感を感じ、自信に満ち溢れて帰ってきました。そして、より一層、自分のもう1つの国、カンボジアについて理解を深めてきました。2つの国をもつ子として、これからも両国の懸け橋になってくれたらうれしいです。



▲アンコールワットに到着!



▲みんなに日本のカレーを作りました



▲プノンペンの王宮

日本語教室 「さくら」「うさぎ」 開催中!!



日 時：毎週日曜日 10:00～12:00
場 所：半田市福祉文化会館内(雁宿ホール)
対 象：「さくら」…日本語の学習を希望する外国人
「うさぎ」…日本語の学習を希望する小中学生
※日本語ボランティアにより、レベル別に指導を行います。

いつからでも
受講できます

ボランティア
募集中!!

昨年度実績(47回)

◎受講生のべ人数
大人 2368人
こども 130人
◎日本語ボランティアのべ人数
982人



日本語ボランティアに参加しませんか?

ボランティア 伊奈 律子

「外国人と友達になりたい!でも、言葉がちょっと…」大丈夫です。ここではどの国の人も日本語で話します。皆一生懸命日本語を勉強しています。そんな外国人のお手伝いをしながら、いろいろな国のことが学べるんですよ。



ボランティア 神谷 久美子

「何か少しでも私にできることがあれば…」と思い、日本語教室へボランティアとして参加。現在「こどもクラス(うさぎ)」を担当しています。子供達の真剣に日本語を学ぶ姿、楽しそうに自分の気持ちを伝えようとする姿から、いつも笑顔と元気をもらっています。



学習生 ダニエル 松村(ブラジル)

日本語教室は1年半前くらいに始めました。先生はとても優しく面白い人たち。日本語の正しい使い方だけではなく、日本の文化のことも勉強になります。他の国の生徒たちともコミュニケーションをとります。もちろん日本語で。日本と自分の国だけではなく、いろんな国文化のことも知るようになりました。そして僕がとても大事と感じたことは、国がライバルであっても生徒たちはお互いにリスペクトしながら同じテーブルで勉強しているということです。

